

ご利用になる前に必ずお読みください

このPDFファイルの内容についてのご質問・お問い合わせは株式会社アスキー・メディアワークスでは一切お受けできません。ご自身の責任においてご利用ください。



この作品は、クリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスの下でライセンスされています。この使用許諾条件を見るには、
<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/>をチェックしてください。

このファイルをクリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスに基づいて利用する際には、下記クレジットを必ず作品や配布物に表示する必要があります。

クレジット：

- 文/u-bon（ブログ『[Viva! Ubuntu!](#)』）
- デザイン/シオズミタロウ
- 初出/株式会社アスキー・メディアワークス「Ubuntu Magazine Japan vol.05」
（<http://ubuntu.asciimw.jp/>） 2010年8月31日発行

プロジェクトサイト



↑インストール終了後は「アプリケーション」-「アクセサリ」から起動できる。

左のプロジェクトサイトの「Download」ページから「deb」パッケージをダウンロードし、インストールする。

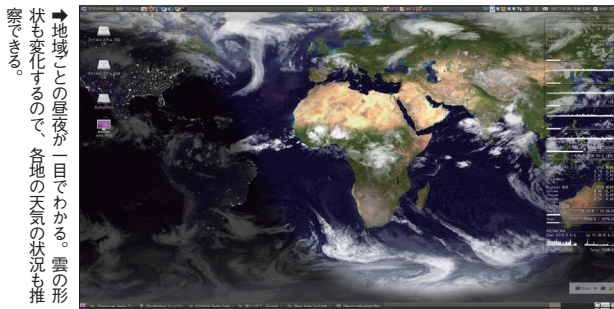
インストール方法

地球の動きに合わせて背景が変化!

時間の経過に応じて変化する地球の画像を、デスクトップ背景画として表示させるソフト。衛星から撮影した地球の画像を30分ごとにインターネット上から取得して表示される。月面の画像も表示できる。

パッケージ版のほか、PPAによるリポジトリも登録可能。「Start When Computer Starts」にチェックをいれておけば、システムの起動時に、この背景画像が毎回表示されるようになる。

メルカトル法での表示



↑地域ごとの昼夜が一目でわかる。雲の形も変化する。各地の天気の状態も推定できる。

表示方法の切り替え

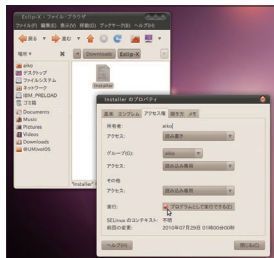


↑地球の画像の表示のさせ方は、メルカトル法など4種類用意されている。

一覧から選ぶだけでアイコンを個別に変更

システムにインストールされているアイコンを一覧表示し、簡単にアイコンの変更ができるツール。ネットで入手したアイコンは「/usr/share/icons」に格納しておけば一覧に表示される。インストール後、「アプリケーション」-「システムツール」から起動する。アイコンを個別に変更していく作業というのは結構面倒なものだが、項目ごとに一覧からマウスで好みのアイコンを選ぶだけで変更できる。

実行形式に変更



↑右クリックで「プロパティ」-「アクセス権」を開き「実行」にチェック。

右のURLからダウンロードした「Installer」を左記の要領で実行形式に変更後、ダブルクリックして「実行する」を選択。自動でインストールが行われる。

インストール方法



お宝 その2

システムツール

面倒なアイコンの切り替えをワンタッチで

Eclip-X Icon Theme Editor



<http://gnome-look.org/> で「Eclip-X」で検索

奇跡の良ソフトを探し出せ 発掘!! お宝アプリ

vol.05

Viva! Ubuntu!!



文: U-bon

人気ブログ「Viva! Ubuntu!!」(<http://viva-ubuntu.net/>)の主宰者が厳選した「お宝」アプリをじっくり紹介! このアプリと使い方を知らないとい損しちゃうゾ。

複数の動画を一気に変換する気持ちよさ

動画の形式変換ツールとしては、28ページでも採り上げている「Handbrake」に定評があるが、「DamnVid」もかなり便利なアプリケーションとなっている。

変換したい動画をまとめてドラッグ&ドロップし、変換後の形式を選択したら「Let's go!」ボタンをクリックするだけ。

リストの上から順番に次々と変換作業が行われる。変換の順番は「Move up」「Move down」ボタンで変更できる。

変換後の形式は「Profile」にあらかじめ数種類用意されているが、自分で好きなように、ビデオ音声のコーデック、転送レートなどを細かく指定して、追加しておくことも可能だ。

さまざまなネット動画のダウンロードにも対応。好みのネット動画のコピーしておき、「Add URL」ボタンをクリックし

ココがスゴイ!! CHECK POINT

複数のネット動画を自動でダウンロード

複数の動画を、まとめて一気に変換

携帯プレイヤーのプロファイルも用意

て現れる画面のURL欄にアドレスをペーストして「+」をクリック。この要領で次々に登録していけば順番にダウンロードが行われる。「Monitor clipboard for new URLs」にチェックが入った状態であれば、動画のURLをコピーしてしばらく待つことで、自動的にリストに追加される機能も搭載している。

「Search」機能については、YouTubeのサイトの仕様変更により、原稿執筆時点でのバージョンでは、日本語での検索は機能しなくなってしまった。修正アップデートに期待しよう。



大量の動画をまとめて変換！
ネット動画のダウンロードにも対応

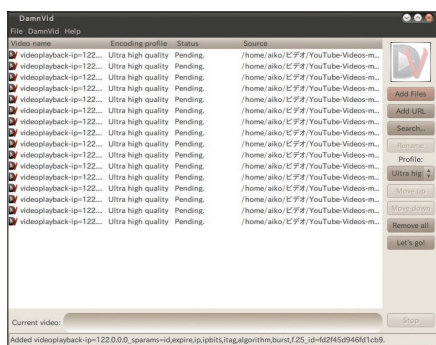
DamnVid



インストール方法

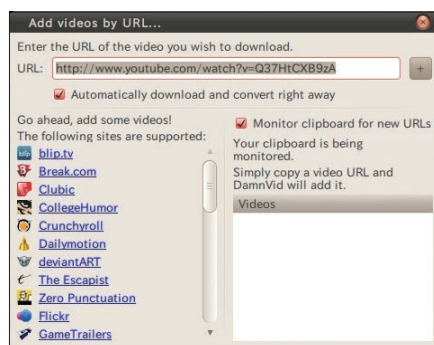
端末を開き、下記を実行するとリポジトリ登録とインストールが行われる。

```
sudo apt-add-repository
ppa:damnvid/ppa
sudo apt-get update
sudo apt-get install damnvid
```



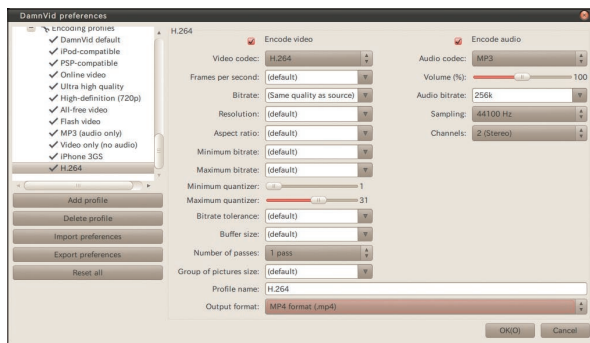
変換したい動画をドラッグ

変換したい動画をまとめて画面上にドラッグすれば登録完了！変換の順番は「Move up」「Move down」ボタンで変更できる。



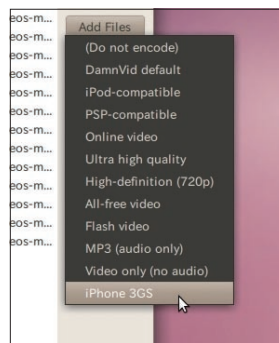
ネット動画のダウンロード

ダウンロードしたいネット動画のURLをコピーしてしばらく経つと自動的にリストに対象の動画が登録される。次々に登録していけば順番にダウンロードが行われるのでラク。



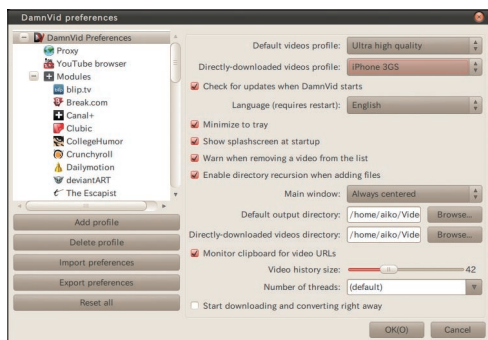
出力後の形式の詳細設定

「[DamnVid] - [Preferences]」を開き、「Add profile」を選ぶと、動画、音声のコーデックなどを自分好みに組み合わせて、独自のプロファイルを作成できる。



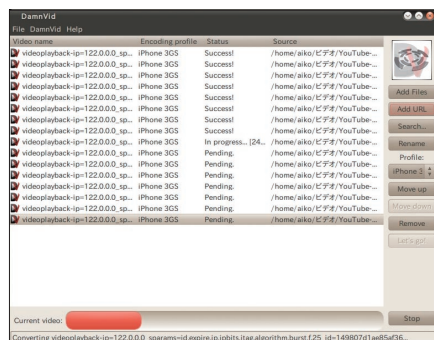
変換形式の設定

「Profile」の一覧から変換後の形式を選択。iPhone用やPSP用など各種用意されている。MP3を選べばサウンドだけが抽出される。



変換後の保存先設定

変換が終了した動画ファイルの保存先の変更も「[DamnVid] - [Preferences]」から行える。



複数動画を一気に変換

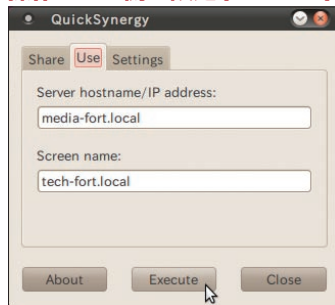
「Let's go!」ボタンをクリックすると、登録した大量の動画ファイルが次々と、まとめて一気に指定の形式に変換される。

マウスカーソルが他のPCの画面に移動

メインマシンでマウスカーソルを画面右に移動すると、まるで画面を貫通するようにして、「Share」画面で右側に設定した別のPCの画面上にマウスカーソルが移動する。この状態でキーボードも利用できるようなアプリ。Ubuntuがメインマシンとなる場合、起動は「アプリケーション」→「アクセサリ」から。「Share」タブを開き上下左右の好きな場所に、操作したいPCの「Screen name」を入力。「Screen name」はUbuntuの場合、端末で「hostname」と入力して「Enter」キーを押して表示された名称に「.local」を付ける。「Execute」をクリックでスタンバイ完了。

LAN上の操作される側のPCにも「Quick Synergy」を導入、起動させよう。「nsa」タブで必要事項を入力して「Execute」をクリックすれば共有開始だ。

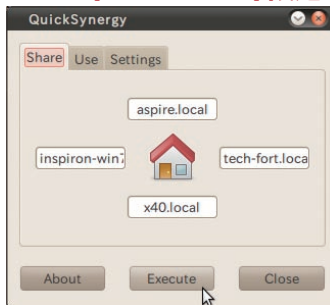
操作される側の設定 (Ubuntu)



ホームアイコンの上下左右に入力欄に、連動させたいパソコンの「Screen name」を入力。

「Use」タブを開き、サーバのホスト名と「Screen name」に自身のホスト名を入力。

サーバ(メインマシン)設定



お宝 その4 アクセサリ

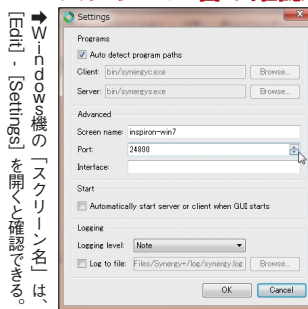
一組のキーボード&マウスを異なるパソコンで共有

Quick Synergy



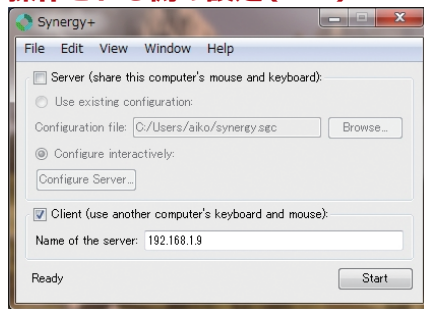
インストール方法 Ubuntu ソフトウェアセンターで「Quick Synergy」を検索してインストール

スクリーン名の確認



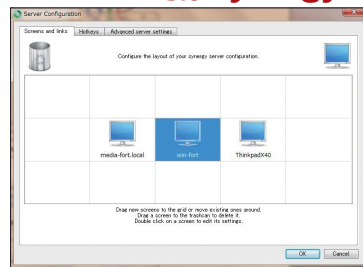
Windows機の「スクリーン名」は、[Edit] - [Settings] を開く確認。

操作される側の設定 (Win)



Windows側の Synergy+ を起動させたら、Client にチェックを入れて、サーバの IP アドレスを入力。

WindowsではSynergy+



Windows 機には「Synergy+」をインストールすれば、Ubuntu 機と連動できる。

<http://code.google.com/p/synergy-plus/>

デスクトップの動きを録画して説明動画として利用する「Screenkey」。プレゼンテーション時、IT 関連の授業、説明用の動画の作成などで、パソコンで入力中の文字を大きく拡大して表示したい時に便利に利用できる。

インストール後、「アプリケーション」→「アクセサリ」から起動すると、システムトレイにアイコンが現れる。そのままキーボードを打つと、画面下部に入力した通りに文字が表示される。なお、表示される文字は英文字に限られる。表示/非表示の切り替えはシステムトレイのアイコンをクリックし、「Show keys」のチェックのオン/オフで行う。

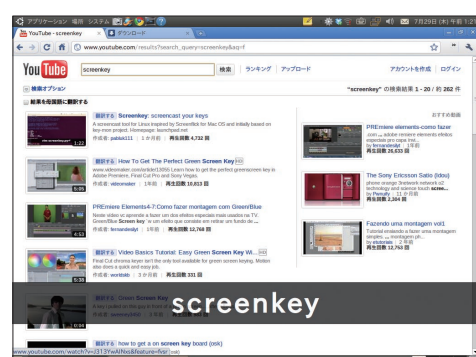
「設定」画面では、入力後、何秒間表示させるかが設定変更できる。さらには表示位置、文字のサイズなどの変更ができる。

プレゼンや説明動画に便利

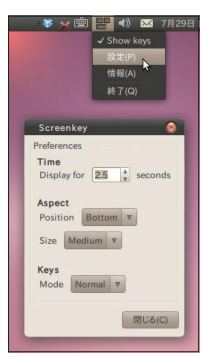
お宝 その5 アクセサリ

キーボード入力を画面上に大きく表示する

Screenkey



インストール方法 <https://launchpad.net/screenkey/+download> から「screenkey_0.2_all.deb」をダウンロードしてインストール。



表示の設定

「設定」画面で、文字/記号の表示秒数、文字の大きさなどを設定変更できる。

システムトレイのアイコンをクリックし、「Show keys」のチェックをオン/オフで切り替える。

表示の切り替え



発掘!! お宝アプリ

Ubuntu 9.10以降で標準となった『GRUB2』に対応したアップデート版がこの6月にリリースされている。ISOファイルのサイズはたったの14MB。下記の要領でレスキュー用メディアを作成しておく。

Ubuntuが入っているディスクに後からデュアルブートでWindowsをインストールすると、GRUBが書き換えられてUbuntuが通常通り起動できなくなってしまう。それ以外にもふとしたミスで、GRUBが壊れてしまうことはある。コマンドで修復していくことも可能だが、その手順はかなり面倒。技術者とはともかく、一般ユーザにとってコマンドライン・インタフェースでの作業は大変面倒で、致命的なミスを起こす危険性もある。

そんなときのために常備しておきたいのが『Super Grub Disk』。

GRUBが壊れたら怖い! GRUB損傷にはコレ!

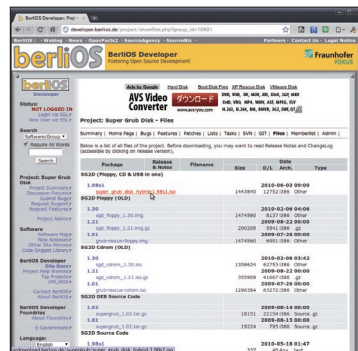


お宝 その6

そのほか

GRUB2 が壊れて起動できない! そのときのために常備しておきたい

Super Grub Disk



USBメモリからのブート



CD-Rへの書き込み



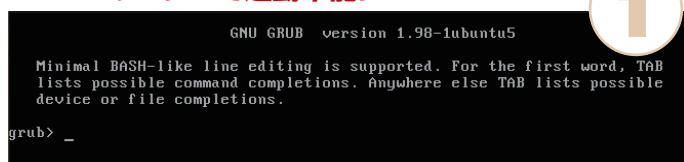
↑ダウンロードしたISO ファイルをダブルクリックし、空のディスクを入れて【書き込む】ボタンをクリック。

レスキュー用メディアの準備

UNetbootin 入手先 <https://launchpad.net/~gezakovacs/+archive/ppa>

http://developer.berlios.de/project/showfiles.php?group_id=10921

GRUBのエラーで起動不能に



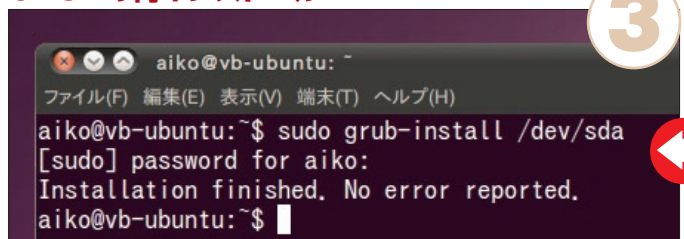
↑パソコンの起動時にこの表示が出たらGRUBが壊れている。コマンドでの修復は一般ユーザでは難しいだろう。『Super Grub Disk』で起動させて修復を試みよう。

1

復旧の手順は、作成したレスキューメディアで起動させ、GRUBを再インストールするというものとなる。この時、誤って他のディスクにGRUBをインストールしてしまうと面倒なことになるので、必ずシステムディスク以外にインストールしておく。3に例として示すGRUBの再インストールコマンドの最後の「sda」は、SATA/USBで接続されているドライブのうち一番目を見せるものとなる。IDE接続のドライブの場合「hda」となる。念のため「sudo fdisk -l」コマンドを実行し、修復すべきドライブが確認しておくといいたいだろう。

レスキューメディアでGRUBを修復

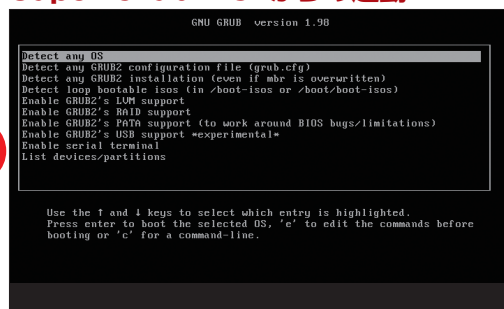
GRUBの再インストール



↑デスクトップへのログインに成功したら、『端末』を開いて上例に示す要領でコマンドを入力し、起動ドライブにGRUB2を再インストールする。(例:「sudo grub-install /dev/sda」)

3

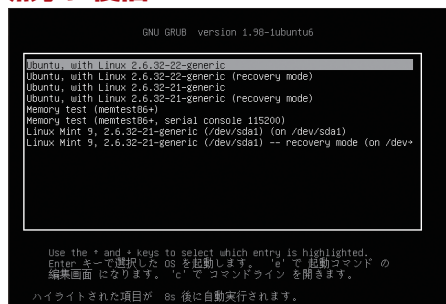
Super Grub Diskからの起動



↑「Detect any OS」を選ぶと、起動可能なOSの一覧が表示されるので、Ubuntuの場合、最新のカーネルを一覧から選んで起動させる。

2

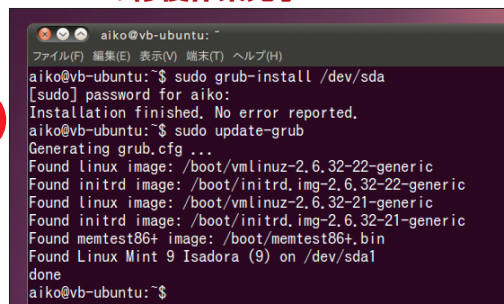
無事に復旧



↑以上により、無事起動できるようになることだろう。Good Luck!!

5

GRUBの修復作業完了



↑GRUB2の再インストールが終わったら、必ずコマンド「sudo update-grub」を実行する。これにより、はじめて設定が反映される。

4